

## 平成 26 年度 高陵中学校区 小中連携・一貫教育 実施計画

学校名	高陵中学校	生徒数	1年 167名	2年 171名	3年 188名	計 526名
		職員数	：県費 36名	市費 10名	非常勤 (内数) 0名	
	上郷小学校	児童数	1年 139名	2年 132名	3年 102名	4年 128名
			5年 136名	6年 133名	計 770名	
		職員数	：県費 44名	市費 10名	非常勤 (内数) 6名	
	座光寺小学校	児童数	1年 31名	2年 50名	3年 34名	4年 41名
			5年 35名	6年 44名	計 235名	
		職員数	：県費 18名	市費 4名	非常勤 (内数) 5名	

\* 児童生徒数、職員数は平成 26 年度の見込み数

### 1 研究課題

「みやましい子」をめざして ～気働きのできる、明るくねばり強い子の育成～

### 2 目的

- (1) めざす子どもの姿の具現について、「学力・体力向上」「不登校・生徒指導上の諸問題の解決と未然防止」「生活習慣・学習習慣形成」「特別支援教育の一層の充実」「小中・小小交流」の 5 つの視点から推進する。
- (2) 平成 25 年度の成果と課題をもとに小中職員が互いのよさに学び合い、9 年間を見通してつける力を明確にして実践を行う。

### 3 実践内容

- (1) 学力・体力向上 (国語、算数・数学、外国語活動・英語、体育)
  - ・小中の 9 年間を見通し、言語活動の充実、思考力、判断力、表現力の向上をめざした系統的な指導についての情報交換を行い、授業改善を推進する。
  - ・言語活動の充実をめざした板書、発問、課題設定、評価など、基本的な内容について、実践を通じた情報交換を行い、授業力の向上を図る。
  - ・小：「家庭学習の手引き」、中：「ガイダンス」の作成と実践をとおして家庭学習のあり方を検討する。
  - ・出前授業により、中学進学に向けた児童の学習意欲を喚起し、中 1 ギャップの解消を図る。
- (2) 不登校・生徒指導上の諸問題の解決と未然防止
  - ・各学校の生徒指導の状況及び課題を共有し、指導のあり方について学び合う。
  - ・個人シートを作成して活用すると共に、小中合同ケース会議を行い、情報の共有と同一方針での支援指導を実現する。
  - ・児童生徒の実態、各校の願い等をもとに、3 校が共通して指導する内容を決めだし、継続した指導を行う。(挨拶、返事、さん・君付け、情報モラル教育など)
  - ・保護者、地域、関係諸機関との連携を積極的に進める。
- (3) 生活習慣・学習習慣形成
  - ・3 校が共通して「挨拶」「清掃」「時間厳守」に重点的に取り組む。
  - ・PTA と協力し、「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、「わが家の結いタイム」にも積極的に取り組む。
  - ・基本的生活習慣の形成について、保護者への啓発を行う。
- (4) 特別支援教育の一層の推進
  - ・特別支援学級入級児童生徒の交流を計画し、積極的に推進する。

- ・小学校特別支援学級入級児童及び通常学級在籍の要支援児童についての情報を共有化し、中学校入学に向けての情報交換、外部機関との連携を行う。
- ・小学校児童希望者（親子）の中学校特別支援学級見学・説明を行う。
- ・関係諸機関・施設との連携を積極的に進める。

(5) 小中・小小交流

- ・中学校文化祭を中心とした中学校行事、教育活動において、小中交流の計画・実践を行う。
- ・地域行事に小中学生が参加することにより、地域において小中交流を行う。
- ・中学生の自己有用感の育成及び小学生の中学校への希望・展望の醸成に向けた小中交流計画の立案・実践を行う。
- ・小6を対象に、中学校生活への不安を軽減し、展望をもてるようにするためのアンケートを実施する。
- ・児童会交流やビデオレター交流等、日常的な小小交流のあり方の検討と実践を行う。

#### 4 推進日程

平成26年度 高陵中学校区小中連携・一貫教育推進日程(案)						
月	日	小学校【含む小小交流】	日	小中合同	日	中学校
4月	22日	・全国学カテスト実施	15日	・3校教頭会①	22日	・全国学カテスト実施
			25日	・3校教頭会②		
			28日	○小中連携推進小委員会①		
5月		・個別支援シート作成	8日	・3校教頭会③		・個別支援シート作成 ・児童会・生徒会活動における連携
			14日	◇3校合同教科等部会①		
			23日	・小中連絡会①		
6月		児童会交流	23日	○小中連携推進小委員会②		
				・特支3校交流会①		
7月			4日	・3校教頭会④		
			15日	◎小中連携推進委員会①		
8月		個別支援シート検討修正	18日	◇3校合同教科等部会②		・個別支援シート検討修正
9月	26日	小・小交流会①	4日	・3校教頭会⑤	26日～27日	・高陵祭
			26日	・高陵祭見学		
10月			7日	○小中連携推進小委員会③		
				・特支中学授業参観		
				・特支3校交流会②		
11月			27日	・小中連絡会②		・学級編制方針
						・制服等業者打ち合わせ
12月			12日	・3校教頭会⑥	6日	・制服採寸(土曜日実施)
			12月～2月	◇3校合同教科等部会(部会ごと開催)		
1月		・学カテスト実施	20日	・新入生オリエンテーション	1月～2月	・出前授業の実施
2月		小・小交流会②	6日	◎小中連携推進委員会②	21日	高陵わくわく ウインターフェスタ
			23日	・小中連絡会③		
				・特支3校交流会③		
3月			9日	・3校教頭会⑦		
				●次年度活動計画発表		

## 5 地域との連携

- (1) 「高陵わくわくクラブ」(高陵中)、「座光寺小クラブ活動」(座光寺小)、「上郷チャレンジ」(上郷小)は、各校ごとに地域への支援要請を行い、申し出のあった内容についての検討を行い、実施する。年度末にはふり返しを行い、次年度以降の連携の支援のあり方について方向づける。
- (2) 「安全見守り隊」「子どもを守る安心の家」等による見守り活動は、各校PTA、上郷地域まちづくり委員会、座光寺自治会、スクールサポーターとも連携し、選定、依頼を行う。特に「見守り隊」については、「子どもを育む連絡協議会」等地域の組織を活用し、整備を進める。
- (3) 3校PTAにおいて、小中連携・一貫教育の意義と各校における取組状況についての説明・情報交換を行い、学校・家庭が共通理解のもとに高陵中学校校区でめざす子どもの育成に努める。
- (4) PTA総会等で、保護者に対して小中連携・一貫教育の意義と1年間の推進日程について説明する機会を作り、理解と協力が得られるようにする。
- (5) 自治振興センター、公民館、図書館、児童館・児童クラブ等、外部機関とも理念を共有し、連携してめざす子どもの姿の実現に向けて協働して取り組む。
- (6) 公民館報、まちづくり委員会報等を通じて、地域に対して小中連携・一貫教育の意義と活動内容について発信する。

## 6 推進にあたっての課題、推進委員会への提案とその根拠

<課題> 3校職員に対する意識調査アンケート及び1年間の実践を通じ、以下の課題が明らかになった。

- (1) 一人一人の職員に対し、いかに小中連携・一貫教育を自分の課題とし、9年間を見通した教育実践を行おうとする意欲づけを行うか。
- (2) 限られた会合回数、会合時間の中で、どのように取り組むべきか、新たな多忙感を与えないように進めるには、どのように運営したらよいか。
- (3) 高陵中学校区における小中連携・一貫教育の共通課題は何か、各部会ではどのようなことが決められたか等についての情報が十分に伝えられていない。
- (4) 校務分掌上の連携推進係の位置づけが明確でなく、3校教頭会を中心としたトップダウン型の推進になる傾向がある。

<提案>

- (1) 職員アンケート、日常の教育活動をとおり、職員のニーズはどこにあるか、子どもの課題は何かを明らかにし、平成26年度に取り組むべき内容を焦点的に決めだす。具体的には、合同教科等部会での提案をもとに、一人一人が自己の課題を選択し、PDCAサイクルを機能させて計画→実践→検証→ふり返りができるようにする。ふり返った内容については、各自で文章化し、小冊子にまとめて共有できるようにする。特に「学力定着」「児童生徒理解」に重点を据え、推進する。
- (2) 職員に新たな多忙感を与えないために、今年度実施したように、第1、2回は全職員一斉に合同教科等部会を行い、第3回(必要に応じて第4回)は部会長が招集して部会ごとに会議を行い、まとめる方式をとる。
- (3) 各部会ごと、または各自の実践をとおして明らかになった課題については、小中連携推進委員会で検討し、次年度以降の実践に生かす。
- (4) 各校の連携推進係は教務主任クラスが務めるようにし、相互に連絡を取り合って日常的に情報交換、話合いができるようにしていく。
- (5) 部会を「学力・知力向上部会」「生徒指導部会」「生活習慣・学習習慣形成部会」「特別支援教育部会」「小中・小小交流部会」の5つ程度に再編し、その中に分散会を設ける。「外国籍児童生徒支援」「図書館教育」「健康教育」等必要性は高いが合同教科等部会で検討・推進することが難しい分野については、分野別の小中合同校務係会を行うことで教育的ニーズのある児童生徒の指導・支援を行うことができるようにしたい。

平成26年度

# 高陵中学校区小中連携・一貫教育

「みやましい子」をめざして

研究課題「気働きのできる、明るくねばり強い子の育成」

## 学力・体力の向上

- ・小中の9年間を見通した授業改善の推進
- ・教師間の情報交換による授業力の向上
- ・日々の授業における言語活動の充実
- ・出前授業による学習意欲の喚起とギャップの解消

## 不登校・生徒指導上の諸問題の解決と未然防止

- ・生徒指導情報の共有化と長所の学び合い
- ・個人シートの作成・活用とケース会議
- ・3校が共通して指導すべき課題の決めだしと指導

## 生活習慣・学習習慣形成

- ・3校共通した挨拶、清掃、時間厳守への重点的取組
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・基本的な生活習慣形成についての保護者との共通理解と日常指導

## 特別支援教育の一層の充実

- ・特別支援学級入級児童生徒の交流の実施
- ・支援を必要とする児童生徒の情報の共有と継続指導に向けた連携
- ・外部諸機関との連携推進

地域連携・キャリア教育

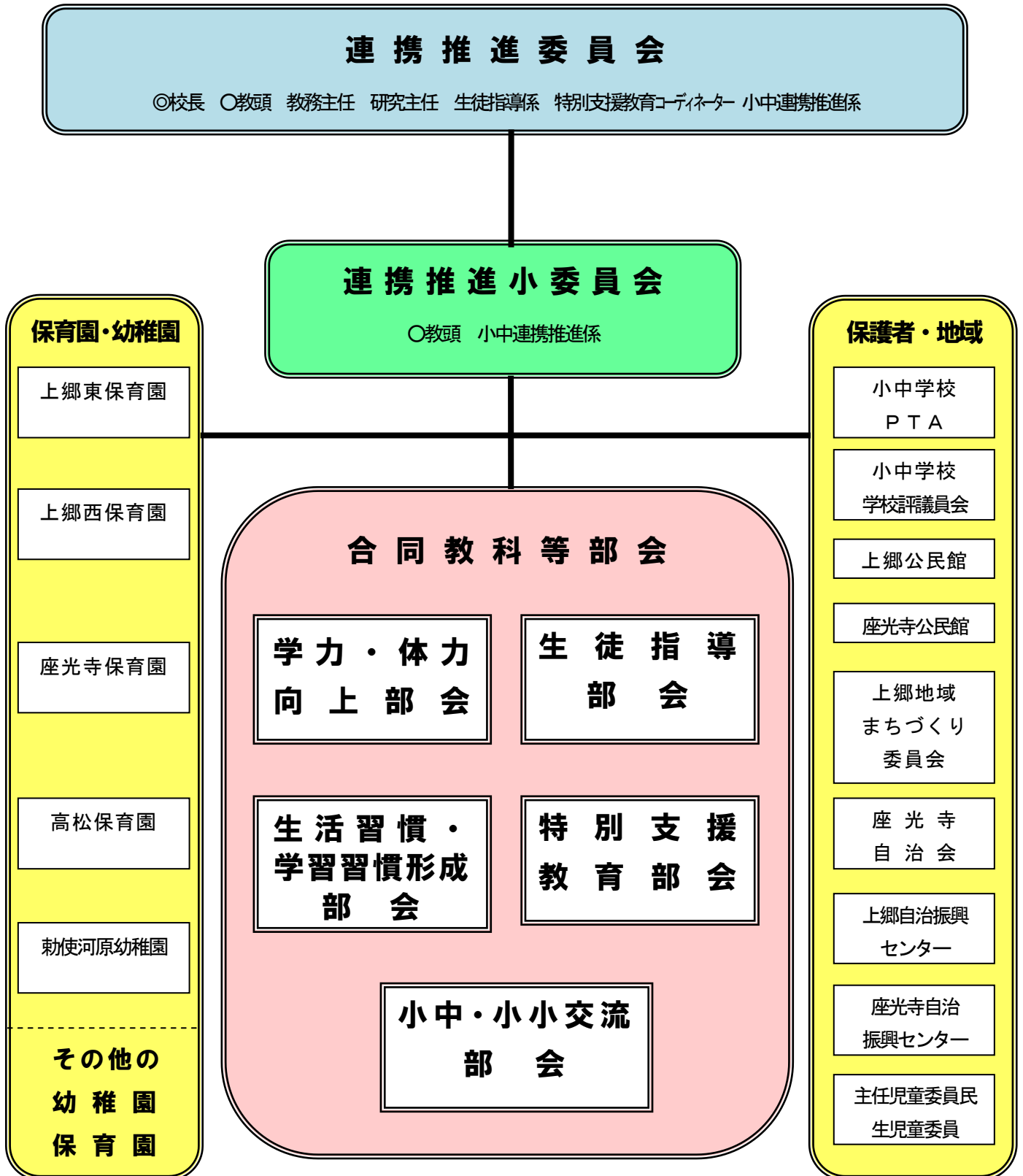
## 小中・小小交流

- ・中学校行事、教育活動、地域連携における小中交流の推進
- ・中学校生活への不安軽減と展望につながる小6・中1アンケート
- ・日常的な小小交流の推進

- ・三校PTA連絡会によるめざす子どもの姿の共有化
- ・公民館、分館と共催した地域行事の推進
- ・地域の実情を生かした見守り活動の推進

- ・三校共通講師による講演会の実施
- ・地域講師の協力による総合、クラブ活動
- ・地域、PTAと連携した「挨拶運動」

# 高陵中学校区 小中連携・一貫教育推進組織図



# 平成26年度 高陵中学校区小中連携・一貫教育実施計画

めざす子どもの姿... 「みやましい子」をめざそう  
 ～気働きのできる、明るくねばり強い子の育成～



座光寺小学校教育目標	上郷小学校教育目標	高陵中学校教育目標
まこと心にあふれる子 ・ねばり強く考える子・進んで表現する子 ・おもいやりのある子・たくましい子 ・座光寺を愛する子	やる気 思いやり 「元気」「笑顔」 「わくわく」「ぐんぐん」「きらきら」	常に一流たるをめざし、意気と希望と人の和を持って、明るい中学校をつくりあげる

中・長期目標	中心組織等	具体的取組
1 学力・体力の向上	学力・体力向上部会	① 小中の9年間を見通した系統的な指導についての情報交換と授業改善の推進(国語、算数・数学、外国語活動・英語、体育)
	学力・体力向上部会	② 言語活動の充実をめざした板書、発問、課題設定、評価等の検討による授業力の向上(国語、算数・数学、外国語活動・英語)
	学力・体力向上部会	③ 小:「家庭学習の手引き」 中「ガイダンス」の作成とおした家庭学習のあり方の検討と実践
	学力・体力向上部会	④ 出前授業による中学校進学に向けた児童の学習意欲の喚起とギャップの解消(算数・数学、理科、体育)
2 不登校・生徒指導上の諸問題の解決と未然防止	生徒指導部会	① 各校の生徒指導の状況及び課題の共有と、指導のあり方についての学び合い
	生徒指導部会	② 個人シートの作成と活用及びケース会議の実施
	生徒指導部会	③ 児童生徒の実態と各校の願いをもと、3校が共通して指導すべき事柄の決めだしと指導
3 生活習慣・学習習慣形成	生活習慣・学習習慣形成部会	① 「挨拶」「清掃」「時間厳守」への3校の共通した重点的取組
	生活習慣・学習習慣形成部会	② PTAと協力した「早寝・早起き・朝ご飯」の推進及び「わが家の結びタイム」への取組
	生活習慣・学習習慣形成部会	③ 基本的な生活習慣の形成についての保護者への啓発
4 特別支援教育の一層の充実	特別支援教育部会	① 特別支援学級入級児童生徒の交流の計画・実践
	特別支援教育部会	② 特別支援学級入級児童及び通常学級在籍要支援児童の小中での情報の共有化と継続的指導に向けた連携
	特別支援教育部会	③ 外部諸機関・施設との連携の推進
5 小中・小小交流	小中・小小交流部会	① 中学校文化祭を中心とした中学校行事・教育活動、及び地域行事における小中交流の計画・実践
	小中・小小交流部会	② 中学校生活への不安軽減と展望につながる小6を対象としたアンケートの実施
	小中・小小交流部会	③ 児童会交流、ビデオレター交流等の日常的な小小交流のあり方の検討と実践

目標	今年度の重点活動	重点活動のねらい
1	① 各校の研究授業への相互参観をとおしての学習指導方法の学び合いと授業力向上	◇ 発問、板書、教材研究、評価のあり方など互いのよさに学び合い、授業力の向上につなげる。
	② 出前授業による児童生徒の学習意欲の喚起とギャップの解消(算数・数学、理科、外国語活動・英語、体育)	◇ 小学校6年を中心にできるだけ多くの学年で行い、児童生徒の実態を把握すると共に様々な先生から学ぶことの楽しさを味わわせる。
2	① 各校の生徒指導の現状の共有と指導のよさについての学び合い	◇ 各校の生徒指導の現状と課題を共有し、9年間を見通して必要な指導の方向を決めだす。
	② 個人支援シートの作成と活用及び合同ケース研究会	◇ 不登校・生徒指導諸問題に関する個人支援シートを作成すると共に小中合同のケース会議で情報の共有化、引き継ぎを行う。
3	① 3校で重点的に取り組む生活習慣の決めだしと指導	◇ 挨拶、清掃、時間厳守を3校の重点指導内容とし、「早寝・早起き・朝ご飯」の実施と共に年間を通じて指導する。
	② PTAと連携した基本的な生活習慣の指導の検証及び9年間を見通した課題の決めだしと指導	◇ 小中の生活のきまりやマナーについて共有化し、PTAと連携して9年間を見通した指導の課題について検討する。
4	① 小中特別支援教育コーディネーター及び特別支援学級担任者連絡会の開催	◇ 特別支援学級入級児童生徒だけでなく、通常学級で特別な支援が必要な児童生徒に関する情報の共有と一貫した指導支援を行う。
	② 特別支援学級6年生児童・保護者の中学校の体験学習の実施	◇ 特別支援学級6年生児童・保護者が中学校の特別支援学級の体験学習を行い、スムーズな入級指導、個別支援ができるようにする。
5	① 中学校文化祭への参加と小小交流の推進(児童会交流・6年生同士の交流)の実施	◇ 高陵祭に参加し、中学校の学習の様子に触れると共に、日常的に小小交流を行うことで進学への期待と安心感をもてるようにする。
	② 地域行事への参加(運動会、文化祭、公民館行事等)	◇ 地域行事に小中学生が参加して交流すると共に、地域に必要とされているという自己有用感を味わえるようにする。

平成26年度 高陵中学校区小中連携・一貫教育推進日程

月	日	小学校【含む小小交流】	日	小中合同	日	中学校
4月	22日	・全国学力テスト実施	15日 25日 28日	・3校教頭会① ・3校教頭会② ○小中連携推進小委員会①	22日	・全国学力テスト実施
5月		・個別支援シート作成	8日 14日 23日	・3校教頭会③ ◇3校合同教科等部会① ・小中連絡会①		・個別支援シート作成 ・児童会・生徒会活動における連携
6月		児童会交流	23日	○小中連携推進小委員会② ・特支3校交流会①		
7月			4日 15日	・3校教頭会④ ◎小中連携推進委員会①		
8月		個別支援シート検討修正	18日	◇3校合同教科等部会②		・個別支援シート検討修正
9月	26日	小・小交流会①	4日 26日	・3校教頭会⑤ ・高陵祭見学	26日～27日	・高陵祭
10月			7日	○小中連携推進小委員会③ ・特支中学授業参観 ・特支3校交流会②		
11月			27日	・小中連絡会②		・学級編制方針 ・制服等業者打ち合わせ
12月			12月～2月	・3校教頭会⑥ ◇3校合同教科等部会 (部会ごと開催)	6日	・制服採寸(土曜日実施)
1月		・学力テスト実施	20日	・新入生オリエンテーション	1月～2月	・出前授業の実施
2月		小・小交流会②	6日 23日	◎小中連携推進委員会② ・小中連絡会③ ・特支3校交流会③	21日	高陵わくわく ウインターフェスタ
3月			9日	・3校教頭会⑦ ●次年度活動計画発表		